

安全報告書

2020年(令和2年)版

三陸鉄道株式会社

この報告書は、鉄道事業法に基づき公表するものです。

社 員 行 動 指 針

【安全・安心の提供】

私たちは、安全の確保を最優先し、お客様に安心して利用いただける鉄道運行を行います。

【お客様の満足度の向上】

私たちは、常にお客様の視点に立って、満足いただけるサービス・商品の提供に努めます。

【地域振興への貢献】

私たちは、地域の皆様や関係機関と力を合わせ、産業振興や地域の活性化に貢献します。

【社会的責任の遂行】

私たちは、地域の一員としての自覚を持ち、明るく住みやすい社会の実現のために行動します。

【社員力の向上】

私たちは、常に問題意識を持ちながら自己研さんに努め、必要な変革に挑戦します。

目 次

1	社長からのメッセージ	1
2	安全基本方針と安全目標	
2-1	安全基本方針	2
2-2	安全目標	2
3	安全管理	
3-1	安全管理体制	3
3-2	安全管理方法	4
4	安全重点施策	
4-1	保安・防災対策	5
5	安全対策の実施状況	
5-1	防災対策	6
5-2	社員教育	8
5-3	その他	10
6	輸送の安全の実態	
6-1	運転事故等の発生状況	13
6-2	災害等の発生状況	13
7	お客様とのコミュニケーション	14

1 社長からのメッセージ

平素は、三陸鉄道に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災津波から9年、昨年のリアス線163kmの開通から1年が経過しました。

開通からわずか6ヶ月後の昨年10月には、令和元年東日本台風（台風第19号）により、線路への土砂流入や路盤流出など大きな被害を受け全区間の約7割が運転できない状況となりました。しかし、国や県、市町村をはじめ、全国の皆様のご支援をいただきながら順次運行を再開し、本年3月20日に全線運行再開を果たすことができました。

2019年度は、夏季の「三陸防災復興プロジェクト2019」での企画列車の運行、「ラグビーワールドカップ2019」の釜石鶴住居復興スタジアムでの開催に合わせた臨時列車の増発、冬季のプレミアムこたつ列車や洋風こたつ列車などを運行し利用者の増加にも努めました。また、沿線の活性化にもつながるよう地域と連携したイベント企画なども実施しました。その結果、年度後半には台風や新型コロナウイルス感染症の影響などもありましたが、地元をはじめ全国からたくさんのお客様にご乗車いただきまして、乗車人員・収入とも前年度を大きく上回る成績となりました。

鉄道の最大の使命である安全運行を確保し安心な輸送を提供するため、台風被害からの早期復旧に努めるとともに、老朽化した橋梁の高欄改修、ATSの更新新設、通信ケーブルの更新、電源用変圧器更新等の工事を実施することにより事故防止に取り組み、2019年度も鉄道運転事故0件、インシデント0件を継続しています。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき2019年度に実施した安全確保のための取り組みや鉄道運転事故・輸送障害の発生状況等について報告するものです。

ご一読いただき、ご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
中村 一郎



リアス線と同時に開業した八木沢・宮古短大駅



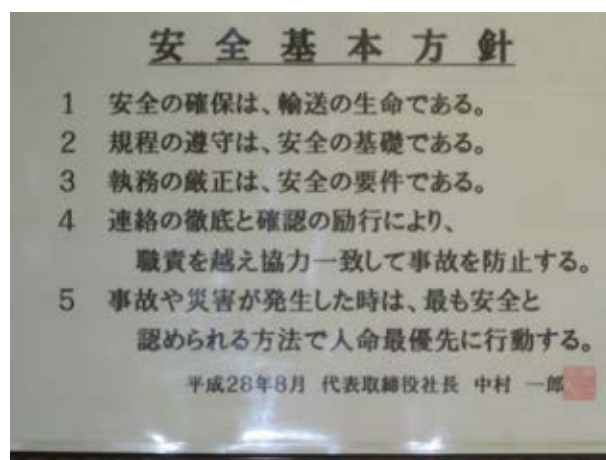
台風被害からの全線運行再開記念列車と
大漁旗で祝う地元の方々(2020.3.20)

2 安全基本方針と安全目標

2-1 安全基本方針

安全の確保に関する基本的な考えは、平成１８年１０月１日に制定した安全管理規程に「安全基本方針」として次のとおり定め職場内に掲出することにより、安全意識の高揚に努めています。

- 安全の確保は、輸送の生命である。
- 規程の遵守は、安全の基礎である。
- 執務は厳正は、安全の要件である。
- 連絡の徹底と確認の励行により、職責を越え協力一致して事故を防止する。
- 事故や災害が発生した時は、最も安全と認められる方法で人命最優先に行動する。



2-2 安全目標

安全管理規程、運転取扱実施基準等に定める安全基本方針に基づき、輸送の安全の確保を最優先とする意識と関係規程類の遵守を徹底し、次のとおり安全目標を定めその達成に向けた施策を実施します。

- 鉄道運転事故 ゼロ
- 重大インシデント ゼロ

※「鉄道運転事故」、「重大インシデント」とは鉄道事故等報告規則（昭和62年2月20日 運輸省令第8号）第3条及び第4条に規定する内容をいいます。

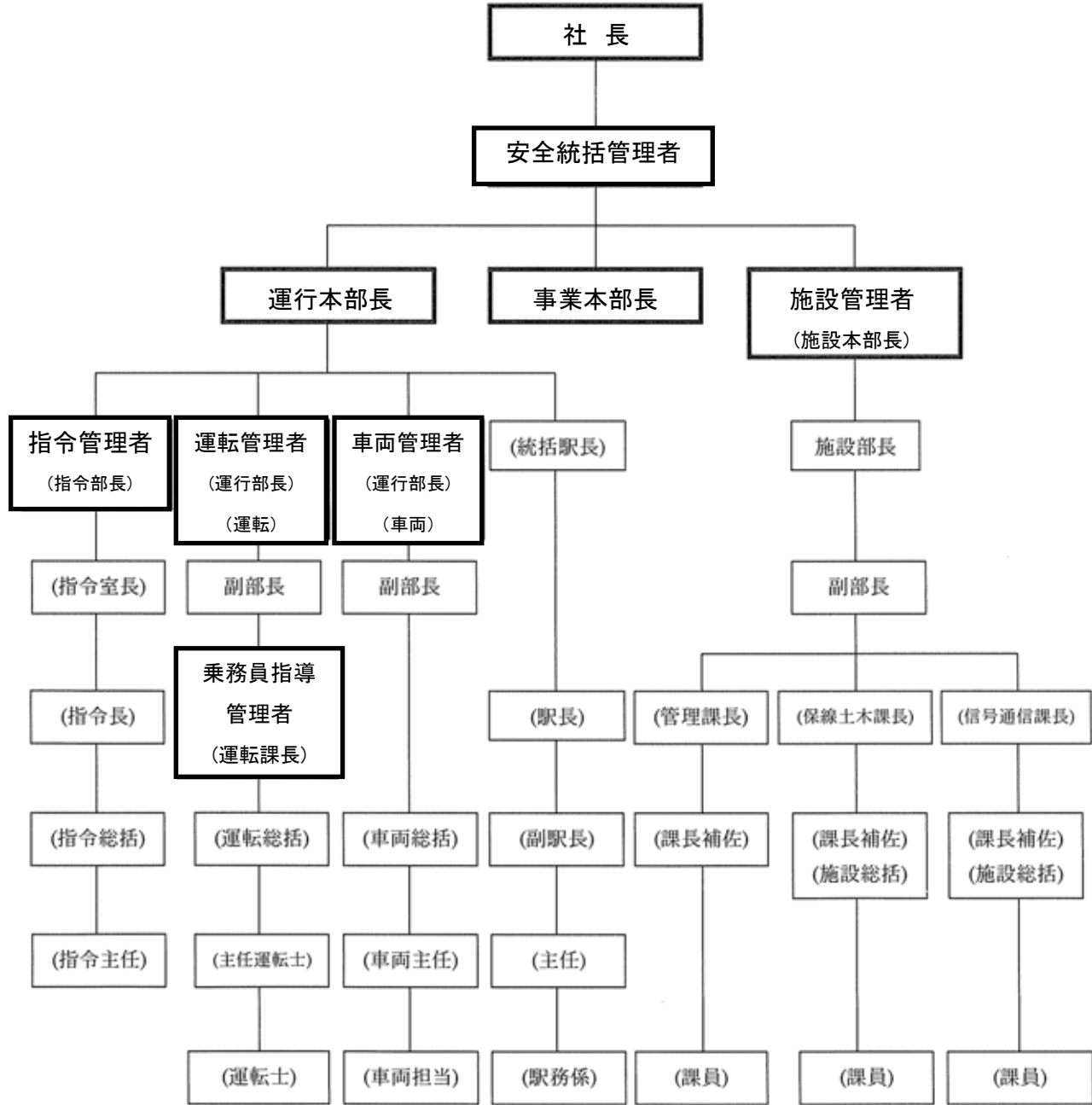
3 安全管理

3-1 安全管理体制

安全管理規程において、輸送の安全を確保するための社内の体制は安全管理体制図のとおりとなっています。

社長が選任した安全統括管理者のもとに運転管理者並びに安全を確保するための各部門の責任者を定め、その役割や権限等を定めています。

安全管理体制図



3-2 安全管理方法

(1) 安全管理委員会

安全管理委員会規則に基づき、社長・安全統括管理者・運転管理者ほか運行の安全に関する社員により構成された安全管理委員会を年に4回開催します。

(2) 安全基本方針の掲出

安全管理規程第2条に規定する安全基本方針を全職場に掲出することにより安全意識の徹底を図ります。

(3) トップによる現場巡回

社長による社員の面談を実施します。

異常時訓練会、年末年始の安全総点検等において、社長、安全統括管理者等の現場巡回を1年に3回以上実施します。



異常時取扱い訓練会における社長訓示

(4) ヒヤリハット事例の収集

ヒヤリハット（事故には至らなかったものの危険だと感じた事象）の報告様式を定め、社員からの報告を積極的に収集し安全管理委員会等で改善策の検討を行い、事故の未然防止に努めるとともに、安全に対する意識の向上を図ります。

4 安全重点施策

4-1 保安・防災対策

項 目	内 容	事業費
橋りょう高欄改修	安全性向上のため、リアス線（普代～久慈間）の6橋りょうで高欄の改修工事を行いました。	46,780 千円
A T S更新、新設	安全性向上のため、リアス線（盛～釜石間）のA T S 59箇所を更新、新設を行いました。	44,522 千円
通信ケーブル更新	老朽化対策として、通信ケーブル（普代～堀内間）6,600mの更新を行いました。	123,586 千円
電源用変圧器更新	老朽化対策として、無線電源用変圧器（綾里～釜石間）8個の更新を行いました。	9,730 千円



橋りょう高欄改修（前）



橋りょう高欄改修（後）



A T S更新・新設（前）



A T S更新・新設（後）



通信ケーブル更新（前）



通信ケーブル更新（後）



無線電源用変圧器更新（前）



無線電源用変圧器更新（後）

5 安全対策の実施状況

5-1 防災対策

○強風対策

24箇所に設置した風速計で風速を監視し、瞬間風速20m/s以上で25km/h以下の徐行運転を行い、瞬間風速25m/s以上で列車の運転を見合わせています。



三杯式風速計



風速監視装置

○降雨対策

1 2 箇所を設置した雨量計で時間雨量、連続雨量を監視し、区間ごとに規制値を定め徐行又は運転見合わせを行っています。

河川の増水に対しても基準を設け、列車の安全を確保しています。



雨量計



雨量監視装置

○地震対策

3 箇所を設置した地震計で揺れの加速度を測定し、区間ごとに規制値を定め気象庁発表のデータと併せて運転規制を行っています。



地震計



地震警報器

○防災情報システム

新たに開業した釜石～宮古間では風速、雨量、地震の震度に加え河川水位、橋脚洗堀、レール温度の情報を一元管理する防災情報システムを導入しました。



○津波対策

津波発生時の避難のために15地区の津波襲来注意箇所を設定し避難場所を指定しています。

避難場所への目印として避難口看板、避難路界看板を設置するとともに、津波避難階段を2箇所設置しています。



避難路看板



避難路界看板



津波避難階段

5-2 社員教育

○定例勉強会

年間計画で毎月のテーマを定め、勉強会を実施しています。

○異常時対応訓練

1年に1回(主に6月頃)、異常時(列車火災・大地震・津波・信号故障・踏切事故等)を想定した実車による訓練を実施しています。

2019年度は、走行中の列車が踏切で立ち往生していた自動車に衝撃し、乗客に負傷者が発生したという想定のもと、宮古車両基地内で「踏切事故が発生した時の対処方」を実施しました。

実施日：6月27日、7月2日、4日



点呼



踏切で自動車と衝撃した状況



運転士から指令へ状況報告



運転士からの報告を受ける指令



乗客救出用はしご設置



現地責任者到着



運転士と現地責任者の打合せ



施設係員と現地責任者の打合せ

5-3 その他

○ホームにおける安全対策

ホーム上のお客様の安全確保に向けて、車内における啓発放送の実施、新設駅での内方線付点状ブロックやホーム先端注意表示の整備を進めています。

○こども110番

トラブルに巻き込まれた児童救済のための緊急避難協力所として9駅に「こども110番の駅」ステッカーを表示しています。

○交通安全運動への参加

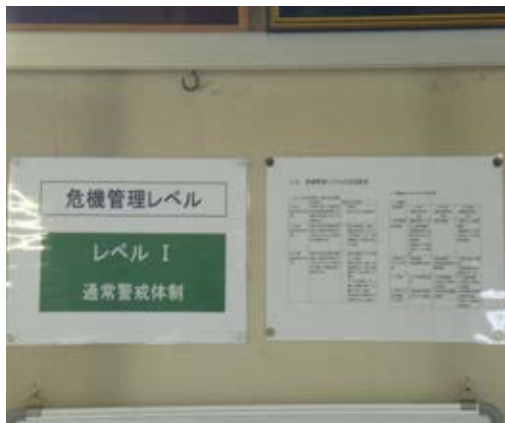
交通安全運動へ積極的に参加し、駅前などでのPR活動、踏切の安全通行に関する啓発活動などを行っています。

○テロ対策

- ・危機管理レベルを設定し、社内に掲出しています。
- ・駅、車内等に不審物発見時の対応チラシを掲出し、お客様に注意を促しています。
- ・盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に防犯カメラを設置しています。



こども110番のステッカー



危機管理レベルの掲出状況



車内チラシ掲出状況

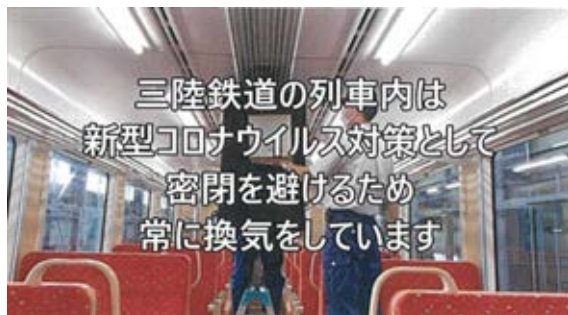


防犯カメラ設置状況

○新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、次の取り組みを実施しています。

- ・ 手洗い、手指の消毒、マスク着用、咳エチケットの徹底
- ・ 出勤時の体温測定
- ・ お客様に対する周知のためのポスターやチラシの掲出と車内放送の実施
- ・ 列車内の換気の実施



- ・ 車内の手すりなど、手を触れる部分の除菌



- ・車内に消毒用アルコールの設置



- ・車両や駅、売店等の接客箇所に透明ビニールによる飛沫感染防止用仕切りの設置



- ・これまで運転士が受け取っていた切符や乗車券は、お客様に直接運賃箱へ入れていただきます



6 輸送の安全の実態

6-1 運転事故等の発生状況

○運転事故（列車火災、脱線等）の発生件数	0件
○インシデント（事故の恐れがある状況）の発生件数	0件
○輸送障害（列車の運休又は30分以上の遅延）の発生件数	
・車両又は設備が原因のもの	4件
・大雨、強風、地震、津波が原因のもの	21件
・列車支障	1件
・その他（動物等）	5件

6-2 災害等の発生状況

2019年10月の令和元年東日本台風（台風19号）の接近により、土砂流入や路盤流出など大きな被害を受け、一時全区間の約7割が運休となりました。しかし、国や県、市町村など関係機関や全国の皆様からの御支援等をいただきながら順次運行を再開し、発災からおおよそ5か月ぶりとなる2020年3月20日に全線運行再開を果たすことができました。



釜石～両石間の土砂流出



岩手船越～織笠間の土砂流出





弘川～津軽石間の土砂流出



田野畑～普代間の土砂流入

7 お客様とのコミュニケーション

○当社ホームページにおいて会社概要、列車時刻、運賃などをご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.sanrikutetsudou.com>

○盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に声の箱を設置して、お客様からのご意見を頂戴しています。

2020年7月

三陸鉄道株式会社

〒027-0076 岩手県宮古市栄町4番地

Tel 0193-62-8900

Fax 0193-63-2611